

第1回学校運営協議会報告

とき 平成31年1月15日（火）19:00 ところ 広尾中学校会議室

開会挨拶【菅原教育長】

本年は、広尾町の3つの小中学校にコミュニティ・スクール制度を導入する、広尾町の教育にとって重要な年です。

本日、広尾中学校に学校運営協議会を設置いたしました。これにより、これまで学校に任せていた教育目標や教育内容についても、法令や学校運営協議会規則に基づいて、地域住民・保護者が参画することができるようになりました。

「学校と地域の垣根を低くしたい」「学校と地域・家庭が一体となった教育を進めたい」と願っていた学校関係者にとっては期待が膨らむ制度であります。

また、これを機に、地域や家庭の役割を改めて問い直すことも、この制度の趣旨として重要であります。学校運営協議会は地域住民や保護者が学校運営に参画する仕組みであると同時に、自らの役割を問い直し、学校運営に対する理解・協力を促すというねらいがあります。

委員の皆さんにはこうした観点からの具体策についても、積極的に発信していただくようお願いいたします。

教育委員会では、地域や家庭の教育機能を強化するために、「広尾っ子応援団本部」を設置いたします。既に、広報などでお知らせしている「広尾っ子応援団登録制度」や「応援メッセージ」を本部の核となる事業と位置付け、学校運営協議会の取組を後押ししたいと考えております。

本日の協議会では、「広尾中の子ども像」をテーマにした「熟議」が予定されておりますが、これを踏まえて、来年度の広尾中学校の目標や計画が検討されると承知しており、「学校運営への参画」の具体的な形として、意義深いものを感じております。

皆様には、それぞれのお立場やご経験から貴重なご意見をいただけるものと期待しております。

終わりにになりましたが、皆様には、快く協議会委員をお引き受けいただいたことにお礼を申し上げますとともに、本日の会議が実り多いものとなりますことを祈念いたしまして、開会に当たっての挨拶といたします。

会議次第

1. 委嘱状手交
2. 開会挨拶
3. 自己紹介
4. 説明「協議会委員の役割について」
5. 学校運営協議会長、副会長選出
6. 熟議「目指す子ども像」
7. 閉会挨拶

学校運営協議会委員（広尾中）

（地域）	【秋月 直志】【山本 公德】【○酒井 敏夫】【齊藤 延幸】 【◎大林 勝則】【川津 和子】
（保護者）	【山畑 裕貴】【藤野 太郎】【堂場 伸二】【松山 孝三】
（学校長）	【加藤 健一】
（教職員）	【荒地 ゆかり】 ◎会長 ○副会長

学校運営協議会の進め方についての質疑

- 校長先生の考えによって毎年目標が変わるということですか？

「目標」とは「次年度の重点教育目標」のことです。校長先生はこの目標を協議会の意見を踏まえて変える（立てる）ことになります。学校はこの目標以外にかかわる多岐にわたる教育活動を当然行わなければなりません。学校は教育活動を毎年改善していますが、様々ある教育活動の中から重点的に取り出して、1年間先生方が協力して改善・充実を図るために重点教育目標を立てます。重点という言葉に意味があります。

- 重点教育目標についての情報はどのようにして得ることができますか？

次回の学校運営協議会で校長先生から重点教育目標と実現の方向性などについて説明をしていただきます。重点教育目標は本日の熟議を参考に立てていただくことになっていますが、教職員の考えや生徒の実態、教育の動向などを踏まえなければなりません。協議会の意見すべてがこの目標に盛り込むことはできないことを理解していただきたいと思います。

- 8月頃にならないと地域・家庭の方策は決まらないということですか？

家庭や地域を巻き込んだ方策にするために手順を踏みたいと考えています。現在のスケジュールでは8月頃の協議会で決定します。ただ、この手順に依らず皆さんの合議がなされれば実現することはできます。

- 地域・家庭の取組は1年単位で変わるようになりますか？

協議会でどのような方策を計画するかによります。地域の特色ある取組として継続しようということになるかもしれませんが、1年単位のものになるかもしれません。

熟議「目指す広尾中の子ども像」



学校運営への参画プロセス

目指す子ども像⇒重点教育目標・教育課程⇒経営計画⇒子どもたちの実態⇒学校関係者評価

キーワード

郷土愛

熟議では活発な話し合いが行われました。キーワードで括られた意見は次のとおりです。

広尾の文化や風土を大切にする子、町の歴史が分かる、広尾の町を愛する子、地元のことに興味をもつ（大切にする）、広尾を元気にできる子（文化・スポーツ）、地元広尾をいつまでも応援できる人

目標・努力

目標達成に努力する子、目標をもって努力する、自分の好きなことが分かる、スポーツで心・技・体を養う、部活動をやめなくて頑張っている子

勉強

勉強の時間をつくれる子になってほしい、勉強をする、学びに喜びを感じる子

責任

仕事や役割をきちんとする、自分のことは自分でする、時間や決まりを守る

あきらめない

困難に向かって人生を力強く生きぬく人間力を身に付けて欲しい、すぐあきらめない

コミュニケーション

スマホが普及して人との会話ができない子どもが多いのでコミュニケーション能力を身に付けて欲しい、人と話ができる

思いやり

周りの人の気持ちを理解する子、思いやりのある人、他人への思いやりをもつ、相手の個性が理解できる、挨拶を元気よくできる人に、人のことも考えられる

人のために

社会は人との関係が必要、社会人として人のためになる人間に、人のために動ける子、他と協力できる子

発信力・挑戦

自分から発信（発言）できる、自信をもって取り組める

上記に括られない意見

国際化する時代に対応できる英語力、智力をつける、将来をしっかり考えられる、楽しさを知る人に、柔軟性のある人間（しなやかさ）、素直で明るく元気、個性的な人間、自分の個性が分かる、毎日学校に通う、道徳感をもってほしい

【意見交流から】

- 子どもが目標をもてないのは、夢や将来について考えなくなっているからではないか。
- 常識からかけ離れたことをやっている大人を見た。道徳心は子どもも親も必要。
- 広尾の子どもたちは挨拶がしっかりとできてとてもよい。これからも大切にしてほしい。